

● コロナ禍だからこそ買い物支援を通じて交流を
あなす
邑助けネットワーク

● ボランティアセンター
だより

● 地域歳末たすけあい見舞金
申請受付

隔月1日発行
この機関誌は共同募金の配分を
受けて発行しています

私たちの 福祉

2022 11
No.276

Welfare



県理容生活衛生同業組合邑楽支部の方による散髪ボランティア。
すっきり、さっぱり、毎回ありがとうございます。

コロナ禍だからこそ、買い物支援を通じて交流を

おたす 邑助けネットワーク

中野東小区お互いさま
ネットワーク

『邑助けネットワーク』
をご存知ですか？

自分が高齢になっても住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らしていくためには公的支援だけでなく、ゴミ出しや買い物など、身近な手助けも必要です。より身近な需要に対応できるよう、地域に根付く活動を目指しているのが『邑助けネットワーク』です。平成29年、行政や関係機関の協力を得て、『あなたの『困った』をみんなで助けあい、支え合う町おうら』をスローガンに、住民主体で立ち上げ、スタートしました。

「邑楽町に住んで良かったと思える環境づくりの一助となれば」と活動しています。



邑助けネットワーク
のしくみ



町全体の課題や地域資源の検討、関係機関との連携、活動の周知などについて月1回話し合いを行う第1層協議体と、地域ごとに必要なこと、出来そうなことについて話し合う第2層協議体で構成されています。活動方法や内容を話し合い、各小学校区協議体に属する構成員たちが活動します。各協議体によって、活動内容は異なります。

具体的な活動

昨年取材した第2層協議体の1つ、「中野東小区協議会」は、主に見守り活動をしています。今回取材した「中野東小区お互いさまネットワーク」は、主に買い物支援の活動をしています。月1回、近所の構成員さんが支援が必要な方へ声を掛け、希望者を募ります。必要な食材を求めるために近所のスーパーへ行ったり、日用品や雑貨、衣類なども含めて見られる商業施設へ行ったりと、対象者の要望を聞きながら行き先を決めて



います。

また、買い物をしている間は一人以上の構成員が付き添い、お手伝いをします。荷物運びやお会計はもちろん、使い方が分からない携帯電話の相談、似合う洋服のアドバイスなんてこともあります。買い物が終わった後も、重い荷物を自宅まで運ぶお手伝いもしています。

今回の取材では対象者8人、構成員10人くらいの参加でしたが、支援対象者の方やお手伝いする構成員さんは、毎回都合のつく方が参加しています。どちらにも負担にならない

よう、型にはめず、ルールも必要最小限にとどめているせいも、まとまりがあり、互いにいつも気持ちのよい時間を過ごす事ができるそうです。

コロナ禍だからこそ必要なこと

コロナ禍で、行動制限がなくてもなんとなくうつりたくないから、と家にももりがちな方も多いと思います。特に高齢になると、外出する機会が徐々に減り、孤立してしまう環境にいる方も多いと思います。もちろん、感染を防止することは重要ですが、こんな時だからこそ、コミュニケーションも大切だと思います。「特に買うものはなくても外出して、知り合いとおしゃべりするのを楽しみ。」「子供に頼んで必要な買い物を近くで済ますのとは違って、楽しくおしゃべりしながらいろいろなものを見るだけでも楽しい。」など、買い物と人との交流のどちらも楽しみにしている方が多いようです。「普段買えない物がこの日は買えるから。」と夕食のメニューを予定して参加している方もいました。

より豊かに生きていくためには、最低限必要なこと以外にも重要なことはたくさんあります。人と人との交流から生まれる会話、たまに食べる好物や見て選べる楽しみ、外出するために身

だしなみを整えることなど、買い物支援は買い物だけでなく、いろいろな面での支援になると考えられます。



今後の課題と展望

支援している構成員の高齢化が課題だそうです。現在の構成員のほとんどがある程度の年齢になっている方なので、今後、継続するためにはより若い構成員が必要です。

また、高齢化が進むほど支援の需要が高くなる一方で、課題が増えます。今は看護師資格を持つ構成員がいるため助かっていますが、支援中に体調を崩す方がいた場合の対応方法などの心配や、交通手段の確保も課題の一つです。



今はコロナ禍でできませんが、一日かけてあちこち観光しながら買い物も兼ねた小旅行なども企画したいと思っています。



邑助けネットワークの役割

日々変化する日常に、寄り添えるのは身近な存在です。公的支援はもちろんのこと、それだけでは行き届かない身近な困りことも多くあります。

地域によって活動内容はさまざまですが、薄れている「近所づきあい」が再生し、お互い支え合って心地よく暮らしていける地域づくりに、今後、『邑助けネットワーク』は重要な役割を担っています。



興味を持った方 お問い合わせください

構成員としてご協力いただく方は特に何かの資格などは必要ありません。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

町役場福祉介護課地域包括

ケア推進係

47-15045

町社会福祉協議会

88-12408

ヤマト福祉財団 助成金募集

障がいのある方の幸せにつながる事業・活動を支援するための、ボランティア活動を行う団体、サークル、研究室など、幅広い分野からのご応募をお待ちしております。

※左記の対象となる事業、活動を1つ選択し応募してください。

【募集内容】①助成総額2000万円（予定）「上限100万円」②対象事業・活動（1、会議・講演会2、ボランティア活動3、スポーツ活動・文化活動4、調査・研究・出版）

【応募要件】①2023年4月以降に開始し、2024年2月未までに完了する事業、活動に限ります②波及効果の望める事業、活動を優先します

【応募方法】ヤマト福祉財団のホームページより、申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上提出

【応募期間】2022年10月1日（土）～11月30日（水）（当日消印有効）

【選考結果の通知】2023年3月開催予定の選考委員会で決定し、文書にて通知（ホームページにも掲載）

【申し込み・問い合わせ先】〒104-18125 東京都中央区銀座2-1-16 公益財団法人ヤマト福祉財団助成金事務局宛て
電話…03-13248-1069
FAX…03-13542-1516

若年性認知症ぐんま 家族会入会案内

64歳以下で発症した認知症を『若年性認知症』と言います。若年性認知症ご本人と家族が孤立しないために家族会への門をたいてください。

【活動内容】毎月の研修会や介護体験交流会、収穫祭、レク活動など

【入会対象】

- ①認知症のご本人・家族
- ②医療や介護職、福祉関係者
- ③事業主
- ④学生やサポーターになっていた方

【会費】個人・支援者共に3,000円（年会費…毎年4月～翌年3月まで）ただし、10月以降加入の方は1,500円。1月以降は年会費なし

【入会手続き】入会申込書に必要な事項を記入し送付（町社協にもあり）

【申し込み・問い合わせ先】〒376-0005 桐生市三吉町2-1-14 大澤幸一宛
電話…090-4843-0387
Eメール…jngkzkukai@outlook.jp

※即対応できない場合がありますので、出来る限りメールでのお問い合わせをお願いいたします。

キッテレ

切手&テレホンカードの寄附ありがとうございます



【使用済み切手】

横田定雄様
匿名様

まがたまの里様
木村多美子様
（株）ヴィラ様

豊島秀行様
邑楽町役場様
やまぼっし様

東邦車輛（株）様
蟹和静子様

よさこい邑楽愛好会様
【未使用切手・未使用はがき・未使用テレカなど】

小林峯吉様
本間三好様

よさこい邑楽愛好会様

素晴らしい贈り物

『私たちの福祉9月号』の長寿者番付で取材させていただいた108歳の橋本オイクさんより、手編みのクッションをいただきました。最近編んだものだそうです。素晴らしいです。



皆さんの善意、ありがとうございます 寄附の報告

高田正彦様 紙おむつ多数

歩行器・杖

小林峯吉様 3,415円

電動ベッド

群馬県理容師会邑楽支部

青年女性部様

タオル100本

920円

匿名様 車イス移動車購入資金

金子功様 お米180kg

お世話になりました 一円玉募金号廃車

邑楽町ボランティアグループによる一円玉募金からご寄附いただいた『一円玉募金号』が、老朽化のため、廃車となります。平成10年から、研修やイベントで活用させていただきました。ありがとうございます。



ボランティアセンターだより

福祉センターだより

町内の循環バスの路線変更と 令和5年度の新規教室の募集



連日の暑さが収まり、すっかり秋めいてきました。朝夕の寒暖差が大きいですので、体調管理には気をつけたいですね。寿荘では入浴に来る方のほか、カラオケや教室に参加するお客さんも増え、昨年よりも活気づいて明るい雰囲気になりました。コロナウィルス収束にはまだ時間がかかりそうですが、館内にお客さんの声が聞こえるようになることも嬉しくなります。一日でも早く通常営業に戻れることを願っています。

町内の循環バスの路線が変わりました

10月3日(月)より、町内の巡回バスの路線が変わりました。巡回経路については館内の張り紙にて周知しているほか、路線バス経路のチラシを寿荘でも配布していますので、ご希望の方は事務局までお越しください。

なお、路線バスに対する詳細については町役場企画課にお問い合わせください。

【問い合わせ】町役場企画課 TEL: (47) 5009

令和5年度の新規教室の募集のお知らせ

寿荘では、新しい教室の開拓を行うにあたり、新規教室の募集を行います。教室を立ち上げたいと考えている方はいませんか？会員5名以上の登録で可能になり、内容についてはご相談いただければと思います。興味のある方は寿荘事務局までお問い合わせください。



【問い合わせ】 邑楽町福祉センター寿荘

所在地: 邑楽町中野1343-1

TEL: 0276 (8) 65888

邑楽町高齢者活力センター

ワークだより

Vol.001



今年の夏は暑い日が続き、新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策が大変な時期でしたが、ようやく秋らしい季節になりました。一日をおとして温度変化が激しい日もありますので、お出かけの際は羽織物を一枚持つ方がよさそうですね。年末に向けて、庭木を剪定したい、障子を貼り直して部屋を明るくしたいなどありましたらぜひ活力センターをご利用ください。年末は混み合いますので早めのご予約をおすすめします。

お引き受けできる仕事の一例

- ・ 植木剪定・機械除草
1時間1人あたり 1,260円(機材使用料・剪定技術料・ゴミ処理費別途)
 - ・ 除草作業(手取り) 1,045円(ゴミ処理費別途)
 - ・ 網戸張り替え
普通サイズ 1,910円(引き取り・納品・材料費込み)
 - ・ 障子の張り替え
普通サイズ 1,650円(引き取り・納品・材料費込み)
- ※その他大工仕事やペンキ塗りなども出来ます。(下見・見積もり無料)

農作業の手伝い会員大募集

活力センターでは引き続き会員募集も行ってあります。特にこれからの季節、農作物の出荷のお手伝いが多くなります。白菜縛りが出来る方、この機会に登録して会員になってみませんか？詳しくは事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ】

邑楽町高齢者活力センター TEL: 0276 (8) 0099

URL: <http://oura-syakyojindo.com/> 高齢者活力センター

活力センターだより

情報コーナー

参加申し込み、意見、ご質問等ありましたら邑楽町社会福祉協議会（88-2408）の各担当までお問い合わせください。

歳末たすけあい見舞金等贈呈事業申請受付開始

毎年12月に実施される歳末たすけあい見舞金等贈呈事業の受付を11月より開始します。大きく分けて4項目の基準を設け、個人情報保護の観点から本人やご家族からの申請を原則として実施します。詳細は10月に毎月配布されたチラシやホームページをご確認ください。

【対象基準】

- 1、準要保護等生活困窮世帯
 - 2、ひとり暮らし高齢者
 - 3、障がい者
 - 4、寝たきり要介護者
- ※長期入院・入所者につきましては、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、今年度は対象外とさせていただきます。

【受付期限】11月18日（金）

【お問い合わせ】

町社協 担当 山田

町地域活動支援センター スイーツ販売日

販売時間	11時30分～12時15分
中央公民館	11月16日（水）
長柄公民館	12月14日（水）
	11月10日（木）
	12月8日（木）
高島公民館	11月9日（水）
	12月7日（水）

随時、ご注文も承っております。お気軽にお問い合わせください。

TEL：0276（88）7920
担当 清野

歳末たすけあい募金のお願い

たすけあい・ささえあいの精神で全国的に繰り広げられる歳末たすけあい運動が、今年も12月1日から1カ月間にわたり行われます。町内では歳末ふれあいサロンや見舞金などの贈呈事業を実施しております。金品の提供ということから、少しずつ見直しされていますが、慎重に事業をすすめることとして、行政区長を通じて戸別募金を依頼いたします。ご協力をお願いいたします。

ボランティア福祉バザー 中止のお知らせ



コロナ禍における新たな「ボランティア福祉バザー」の開催を模索してまいりましたが、感染防止対策を講じながら、安全な形式での実施は困難であると総合的に判断し、今年度も中止とさせていただきます。

来場を楽しみにしていた皆さま、また品物の提供をご予定されていた皆さまには大変申し訳ありませんが、ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。



第13回邑楽町社会福祉協議会長杯ゴルフ大会の結果

9月9日（金） 鶯農村広場で開催された大会の結果です。

【男子の部】
優勝 上原 忍
準優勝 上野正由
3位 長橋幹夫

【女子の部】
優勝 原 晴美
準優勝 菅原きよ子
3位 松本光枝

共同募金会からのお知らせ

邑楽町民のみなさまには毎年共同募金にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

これまで戸別募金の際「赤い羽根」をお配りしていましたが、原材料不足を懸念し、昨年度から「ありがとうステッカー」に変更させていただきました。これまで親しんでいただいた「赤い羽根」はPR活動などの場面で見かけることもあるかと思えます。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

紅編集後記

●お休みの日はなるべく歩く時間を作っています。現状維持にはほど遠く、体力は確実に落ちています。何とかしたい。

（小山）

●何回も協議を重ね、コロナ禍で新たな形式での福祉バザーを模索してきましたが、今年も中止となりました。来年こそは開催したいですね。

（坂入）

●子供がプチ反抗期を迎え、悲しいですが成長の証だから仕方がない。短気な私が逆切れしないで我慢できるかが問題です。非常に難しい。

（川田）

●寒くなってきましたね。私はオールシーズン鼻がムズムズなので、「コロナ対策も含め、今年の秋冬もマスクが必須です」。

（小早川）

●一念発起してダイエットに成功！でも周りの反応は「大丈夫？どこが悪い？」。そんなお年頃です。

（設楽）

●10月にチラシを全戸配布いたしました。「社会を明るくする運動」の集いは、11月19日に開催となります。ぜひご参加ください。

（山田）

●長く飼っているうさぎちゃん。そのうちの1匹がうちの家族にしては珍しく、ピツラリえさの時間になると、お知らせに来ます。お業の時間や子どもを迎える時間まで把握しているようで、家族の中では人間ならきつとA型だね、と話しています。ほとんどの人が当てられない、大雑把な私もA型なんだけだな。

（軽部）